

# 明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2021年11月5日  
住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町5-3 ☎03-3959-1675(陽光会本部)  
社会福祉法人陽光会 HP <http://youkou-kai.com>

95号

「多様性のある社会をつくろう」「多様性を尊重しよう」と最近よく聞きます。「多様性」を調べてみると、「多様性とは、幅広く性質の異なる群が存在すること、性質に類似性のある群が形成される点が特徴で、単純に『いろいろある』こととは異なる」とありました。しっかり理解できたわけではないけれど、「自分がわかる」「自分で決める」「自分で選ぶ」そんな生き方を自分自身がいいなと認めることができた、他の人のこともいいなと思える瞬間が日常のなかであれば素敵だなと思いました。あたりまえだと思っていたことも、生きてきた時代や経験によって感じ方はさまざま、答えは一つではないことばかりだけど、大切にしたいことはなんだったのかを振り返り、確かめ、「自分」が作られるのだなと感じています。シンプルに考える……難しいけど、大事なことですね。(F・T)

## 保育園の看護師として大切にしていること



保育所の最低基準に、職員は保育士、嘱託医、調理員、施設長が明記されていますが、これ以外に看護師、栄養士、事務職員、用務職員などの協力者があって保育所は成り立っています。国基準では、1998年以前は乳児保育指定保育所では乳児9人以上を保育する場合は、保健婦・看護師の配置が求められていたが、1998年の乳児保育一般化(0歳児3人に大人1人の基準)とともにこの条件は外されてしまいました。しかし東京都では、東京都保育サービス推進事業の0歳児保育対策事業の運営要件として、今も看護師が配置されています。

### 子どもたちの日常の姿を把握することから

陽光保育園看護師 玉城久美子

陽光保育園に勤務して5年。保育園の看護師とはどういう役割を担っているのかを模索しながらの5年間でした。

私は、保育園の集団生活において子どもたちがいきいきと元気に安全に過ごすためには、当たり前ではあるのですが、「健康」が何よりも大切だと思っています。全身状態以外にも、子どもたちの表情、言動、クラスで遊んでいる様子など、子どもの生活



「バイキンをやっつけてきれいな手にしようね」絵を見せながら説明

のすべてが健康状態の把握につながります。心身の観察で大切にしているのが、子どもたちとの関わりです。午前9時前後と午睡明けの時間帯に、各クラスの子どもたちが元気に遊んでいるか、食欲はどうか、体調の悪そうな子はいないかなどを見て回り、子どもたちと関わることで、その子のいつもの健康状態を知ることが出来ます。いつもの様子を知ることが、異常の早期発見につながります。これからの、子どもたちとの関わりを大切にしていきたいです。

この1年半、新型コロナウイルス感染症の流行により、保育園行事が中止または縮小され、保育園の生活にさまざまな影響を及ぼしてきました。そのような感染状況に合せて何を大事にしたいかを看護師の視点で意見を伝えてきました。他にも、保育環境の整備やおもちゃの消毒方法、手洗い方法など、看護師としてさまざまなことに関わってきました。

その時々で状況で、何なら出来るのか、どうしたら出来るのかなど、職員と意見を出し合いながら、考えてきました。また

途中入園のJ君がリズム中にメソメソ……。気にしたお世話好きのMちゃんが「大丈夫?」というように顔をのぞき込み、手を取って一緒にリズムに誘ってくれました。次の日、J君のほうからMちゃんの肩をトントン。すると、Mちゃんは自分を指差し、一生懸命自分の名前を連呼。名前を憶えてほしかったんですね。

### すべては子ども優先で

桜台第二保育園看護師 藤井佳奈

保育園で働き始めて、2年が経ちました。保育園勤務は初めてで、戸惑うことが多いのですが、子どもたちと接することができ、楽しく仕事をさせていたいただいています。

仕事をするうえで一番大切にしていることは、子どもにとって大切なことを優先することです。病気について判断が難しいこともあります。できる限り対応できるように心がけています。

昨年から新型コロナウイルス感染症の感染防止対策がとられてきました。緊急事態宣言はようやく解除されましたが、これまでと変わらず、職員一同、行動に注意しながら日常生活を送っています。

桜台第二保育園はお医者さんの指示のもと、塗り薬を持ってきている子どももいます。日々の薬を塗る仕事は大変でもありますが、「今日ね、〇〇したの」と子どもから保育園であった出来事を聞くことができ、楽しいひと時でもあります。子どもたちとのかかわりが増えることで甘えてくれる姿もあり、かわいらしく、うれしく思います。

コロナ禍のなかでの保育ですが、園児のためにどうすればいいかを常に考え、職員で話し合い、協力していきたいと思っています。医師の指示に基づき塗り薬を塗ってあげたり、午睡時は寝かしつけたりも



医師の指示に基づき塗り薬を塗ってあげたり、午睡時は寝かしつけたりも

### 月1回の「健康の日」子どもの心にちよと残る話を

北町保育園看護師 城内小瑞

北町保育園の看護師となって、今年で12年目になります。病院勤務から10年も離れていた当時、保育園の勤務経験がなく、小学生2人の子育て中で、しかも人前で話すことが苦手だったため、自分に務まるのだろうかかと不安でしたが、かわいい子どもたちに癒され、毎日元気をもらい、苦手意識はしだいに薄らいできました。



「健康の日」の看護師の話に、興味津々で聞き入る子どもたち

「健康の日」というのは、月に1回「健康の日」という日があり、15分程度で子どもたちに手洗い方法や歯みがき指導をはじめ、季節に合わせた内容など、いろいろな話をします。新型コロナウイルス感染症が流行する前は、幼児3クラス合同で行っていましたが、今は感染拡大防止対策として密を避けるため2クラスに減らしています。人数を減らすことで、子どもたちも集中して話が聞けるように思っています。

子どもたちが飽きないようにイラストを多くして、目で見てわかるように工夫しています。生活リズムの睡眠の話や、少し難しいかなと思う内容でもよく聞いています。なかでも子どもたちの関心が高いのは、「身体」についての話です。「食べ物の旅」という消化吸収の話や骨・筋肉の話では動物の動きのポーズを真似したり、足ジャンけんをしてみたり、楽しく身体も動かさせて一石二鳥です。

保護者の方からも「この前のナースの血液の話、家で話してくれました。身体の話が好きみたいです」とうれしい反応をいただきました。連絡ノートに「健康の日」のことが記入してあるのを見ると、親子のコミュニケーションの話題になれたとうれしくなります。毎月1回、短い時間ですが、子どもたちの記憶にちよと残る話が、これからもできたらと思っています。



◆利用日・利用時間など  
月曜日～金曜日の9時～17時(土・日・祝日・年末年始休)  
1歳児以上で、離乳の完了しているお子さんから利用できます。板橋区発行「すくすくカード」の利用も可能です。  
一日1時間～8時間。ご希望の時間帯で利用できます。  
◆お申し込み・お問合せ  
直接、陽光保育園へ。  
(03)561-1068、受付時間10時～17時

◆こんなときご利用ください  
保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など。また保護者の傷病・被災・事故・出産・冠婚葬祭などの緊急時。  
保護者の子育て不安・リフレックスなど。  
●育児相談、健康診断等、お子さんが保育園での保育が必要と認められたとき。

●事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。  
●利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。

### ●陽光保育園●親子でいっしょにあそびましょう

今年度はあと5回です。  
11月16日(火) 12月21日(火)  
1月18日(火) 2月15日(火)  
3月15日(火)  
\*動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。詳しくは下記までお問合せください。  
☎03-3956-1068

### こあんない

●陽光保育園  
●共育講座「大人こそ知りたい。子どものための性のお話」  
講師 花田満乃先生  
日時 11月27日(土)10時～11時30分  
オンライン開催  
参加対象 在園保護者・職員  
●ただじゅん公演 11月17日(水)  
●荒馬座ミニ公演 12月16日(木)  
●北町保育園  
●共育講座「親子であそぼう」  
講師 多田純也さん  
日時 11月27日(土)  
参加対象 在園親子・職員  
●新年祝い会 1月6日(木)  
●桜台第二保育園  
●お店やさんごっこ 12月2日(木)・3日(金)  
●新年祝い会 1月12日(水)  
●板小あいキッズ  
●工作 あそびフェスティバル 11月24日(水)  
●おたのしみ会 12月23日(木)  
\*新型コロナウイルス感染症はまだ収束には至っていません。陽光会の4事業所では、年間で行事を予定しておりますが、外部からのお客様をおよびすることができませんので、ご了承ください。

子どもの言葉から気づかされたこと

拡大版4

● 陽光保育園 ●

まだ3歳？ もう3歳!!

毎朝、お父さんとバイバイするとき悲しくなってしまう、なかなか離れないKちゃん。担任といっしょに「いってらっしゃい」とがんばるものの、その後悲しげな表情。するとそこへやってきて、気にかけてくれるのがAちゃんです。Kちゃんの手を優しくそっと握り、もう片方の手で背中をさすってくれます。「まだ2歳だもんね。寂しくなっ



上：さみしかったね。お迎えまで遊ぼうね  
下：友達の力をかりて、気分も変わり、みんなでお散歩へ。2歳児

● 桜台第一保育園 ●

小さな子どもにもコロナの影響

2歳児クラスのべんぎん組では、秋の深まりとともに散歩に出かけています。小さな茂みのなかを散策し、猫じゃらしを片手にダンゴ虫を探したり、かくれんぼをしたりして遊んでいます。

ある日、みんなの様子を見ると、Aくん「先生！森の中いっしょに行こう」と勢いよく手を引かれました。森」という言葉に、子どもたちが捉える世界の大きさに触れた気がして、私もワクワクした気持ちで茂みに入りました。



上：保育士のギターに合わせて歌う  
下：近所の広場へお散歩。2歳児

ちゃうの、しょうがないよ。次の日も「大丈夫？」といっしょにいてあげるからね」と声をかけてくれます。先に3歳になったAちゃんは一ツお姉さんという気持ちもあるのか、だってAちゃんもう3歳だからね」と、そのお姉さん言いにほっこりし、笑ってしまいました。保育士が声をかけるよりもKちゃんの気持ちは晴れたよう、すくなくいっしょに遊びだしてしまいました。

まだまだおもちの取り合いやケンカも多いクラスですが、誰かが泣いているとティッシュを持ってきて涙を拭いてくれたり、悲しい気持ちになっていることに早く気づいて自分のことのように思いやる気持ちがその言葉に表れているなと思いました。

子どもたちの姿や言葉から、私の声かけもそのときの子どもたちの気持ちにちゃんと寄り添えているかなと振り返らせてくれたり、子どもだけでなく大人同士でも思いやりの気持ちをもつことの大切さを改めて感じさせられています。

(陽光保育園保育士 中村朋子)

にまで子どもたちの頭をよぎることに少し憤りを感じ、この時代に生きる子どもたちの日常を垣間見たような気がしました。

その日の夕方、Bくん「コロナってなに？」「と聞くと、「お外にいるよ。もういないよ」と怒から見える空を指さします。Bくんの言葉どおりになる日が来ることを願いながら、日々の保育で大切にしたいことを守りたいと思います。

(桜台第二保育園保育士 相原達也)

● 板小小あいきッズ ●

いっしょ笑顔で

「いっしょ、おどってばっかだね」。まさに子どもの言葉に気づかされたひと言です。

あいきッズで仕事を始めて5年になりました。十数年の長い幼稚園教諭として従事してきた私は当初、小学生との関係の築き方に悩み落ち込むことが多く、自分には向いていないのではと考えることもありましたが、そんなとき、その年の卒業生から、「みんなにとってやさしい大人、これからもニコニコ笑っていてね」と書かれたカードをもらいました。その言葉に励まされ、私は私らしくて良いと、楽しんで仕事に取り組んできました。

今年度は正規職員として勤務しています。子どもたちの安全・安心に対する意識が高まり、今まで以上に責任を感じ仕事に向き合っています。正規職員としての自覚が空回りして自分自身の余裕を

BOOKコーナー 絵本紹介③

乳児へ

ぞうくんのさんぽ  
作・絵：なかのひろたか  
レタリング：なかのまさたか  
福音館書店刊 / 28頁

力持ちのぞうくんが、散歩先で出会ったかばくんとわにくんを背中に乗せて散歩します。小さなかめくんに会い、かめくんも背中に乗ると、力持ちのぞうくんも重さにたえきれず、みんなで池に落ちてしまいます。動物たちのユーモラスなやりとりと最後に崩れてしまうシーンに子どもたちは大喜び！絵本の楽しさを子どもと一緒に味わえるお話です。

おおきなかぶ  
再話：A・トルストイ  
訳：内田莉莎子  
絵：佐藤忠良  
福音館書店刊 / 28頁

おじいさんが植えたかぶが、とてつもなく大きくなりました。おじいさんだけでは抜くことができず、次々に助っ人を呼びます。みんなで力を合わせ、「うんとこしょ！どっこいしょ！」とかぶを抜く場面では、かけ声ののって一緒にかぶを抜く楽しさを味わえます。1人ではできないことも2人3人と力を合わせることで達成できる喜びを感じられる絵本です。

陽光会法人本部 宗形博美

● 北町保育園 ●

「コロナだからできない」ではなく「コロナだけ楽しかった」に

行事を楽しみにしているAちゃんが、「先生、遠征っていつ？」とたずねてきました。「遠足ね、今、先生たちでどうするか相談してるんだ」と答えると、「知ってるよ！コロナだからできないよ！？」と残念に感じているような、怒っているような表情で答えたAちゃん。そのとき、「コロナのこと、この状況を理解しているんだな」と感心した一方で、「コロナだからできない」という認識になってしまっていることに危機感を覚えました。

日々、手指消毒や玩具消毒、食事の際の黙食や座席位置の配慮などの感染症対策をしながら保育をするなかで、なぜ対策が必要なのか、どうして黙食をするのかなど、子どもたちにはわかりやすく説明をしています。また、例年取り組んでいる縦割り保育や年長児のお泊りごっこなどを気にしている子どもに、「コロナだからお泊りはしないのよ」と説明しているため、子どもたちにとってはそれ

なくしてしまいました。子どもたちもコロナ禍で活動が制限されたり我慢したり。ストレスや不安をぶつけてくれることに對して、余裕のない私は、叱ることも怒ることが増え、笑顔が減っていったんですね。

「いっしょニコニコ笑っている、子どもたちとともに楽しむ」。私が大事にしていることに改めて気づかされた言葉です。マスクで顔が半分隠れていても、心も笑っている笑顔です。

(板小小あいきッズ指導員 林田千恵)



上：くみくみスロープ、うまきできたよ。さあ、ボールをころがすよ  
下：トランプタワー完成！



今も世界に絶えない戦火…… 子どもたちの未来に笑顔を

戦争と私★

そして未来へ

佐藤美砂

1970年代に生まれ、この国で育った戦争も、60年・70年安保闘争も知りません。でも、毎日暮らしているなかで、この国に戦争があったということ思い出すことはあります。身近なところでいえば、水道水に塩素が入っているのは、GHQの指導が始まりです。通勤で通る神田川に架かる橋には、銃弾の跡がまだあります。見るたびに、石の橋にこれだけ銃弾の跡が残るといことは、人間の体なんて、まして子どもなんて、小石をはじくように簡単に買かれるだろうと思います。

12年前になります。沖縄平和行進に参加し、ひめゆり平和祈念資料館、平和祈念公園を訪れました。敵に見つからないように、自分の子どもの口を押さえ、命をうばってしまった親の話、道の駅「かでな」の隣にある、安保の丘で聞いた戦闘機の飛び立つ音、忘れられません。思い出すと、胸のあたりが、ギュッと押さえ付けられるような感じがあります。また、日米地位協定に、今も苦しんでいる方々がいます。

陽光保育園卒園の息子が、北関東で農業をしています。夜は、蛙の大合唱がすすぎで、笑ってしまうくらいのだかなところですが、農地の上空を戦闘機が飛んでいきます。

\* \* \*

平和行進へ参加してから、10年以上経ちました。辺野古への基地の移転問題、上空を飛ぶ戦闘機の音、ニュースを見ていて、何か少しは変わったのだろうか考えると、やはり胸がギュッとします。

自分の力で、世界中の戦火が止められたなら、苦しむ子どもたちがいなくなったら、どんなによいかと思いますが、難しいです。

私にできることは、自分と違うものを否定するのではなく、「まあ、人生そういうこともあるわな」と、受け止めることではないかと。自分と違うものには畏怖の念を抱きやすく、全部を、素直に受け入れるのは難しいです。だから、肩の力を抜いて、まあそういうこともあるわなと、少し受け入れることができれば、少し、争いはなくなるのかなと。

「生きてるだけで丸もうけ」と、あるタレントさんが、テレビで言っていました。どうぞ、子どもたちみんなの未来が、笑顔で丸もうけでありますように。

(板橋区在住/卒園保護者)



上：虫捕り大好き！4歳児  
下：園庭の菜園でニンジン収穫！

子そだて奮闘記

子どもに教えることよりも、子どもから教わることのほうが多い

我が家は夫と小学2年生の長男、年長の次男の4人家族です。男の子は大変だとよく聞きますが、我が家も、ご多分に漏れず。家の中では走り回るし壁にボールはぶつけるし……。そんな我が家のささやかなエピソードをご紹介します。

長男は、クラスの友だちから、おかわり軍団の柱」と評されるほど食べるのが大好き。「学校で一番楽しいことは？」という質問には、もちろん「給食！」と即答です。「コロナ禍で運動不足が気になる今日このごろ。夕食のとき、隣に座っている長男に、「ちよっとお腹が出てきたんじゃない？おかわりは控えたら？」と声をかけると、「そっ？でも家にはお手本じゃないんだよ。ね。」と一言。おっしやるとおどろかします。私のほうが太っています。何も言い返せませんでした。「親の背を見て子は育つ」子は親を映す鏡」とはよく言ったものです。普段から自分の言動には気をつけたいといけませんね。

次男は周りの空気を察知して動く要領のいいタイプ。普段は温厚な私が、時に腹を立てて声を荒げようとすると、私の顔をとっさに見て、15秒で洗濯物を畳むという技を持っています。

家族で旅行に出かけたある日のこと。帰りの道路は大渋滞。少しでも早く着く方法はないかと、方向音痴の私なりに検索して、夫に別のルート提案しました。でも、「こっちの道で行きたいから」とまったく聞かずに持たせました。一生懸命調べたから少しくらい聞いてよ！私の語気も強まるというものです。けっこんな殺気(笑)だったと思うのですが、次男が私の顔を見て一言。「ママ怒ってるの？でもパパも頑張ってるんだからさ」とニコニコ笑顔で私の肩をポンポンと叩くのでした。このピリピリムードのなかでよく言ったなあと感じました。子どもに言われたら怒っているわけにいかない。私の怒りをぶつけられずすんだ夫も、さぞ救われたことでしょう。

(陽光保育園5歳児クラス・山口二郎の母 山口弘美)